

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年9月7日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年9月7日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【5号機非常用ディーゼル発電機補機冷却海水系の配管フランジ部からの水の漏えいについて】 当社社員が、5号機非常用ディーゼル発電機補機冷却海水系配管点検のため、配管内の残水を排水した際、排水箇所以外から流水音がしたため排水を停止し周辺を確認したところ、排水完了後に切り離し予定であったフランジ部からの水の漏えいを確認。 漏えいした水をバケツで受け、その後、漏えいの停止を確認し、フランジ部のボルトを締めた。 漏えいした水については、拭取り済み。 漏えいの経緯を確認したところ、当社社員が、5号機非常用ディーゼル発電機補機冷却海水系配管点検のため、配管内の残水を排水。 排水が完了したため、当該フランジ部のボルトを外し、異物混入防止テープを巻き養生を実施。 当該フランジ部から点検のため配管を外そうとしたところ、残水処理が完了しているにもかかわらず、残水が確認されたため残水の排水方法を検討。 その際、当該フランジ部のフランジボルトを外し、異物混入防止テープを巻いた状態であったことを伝え漏れたため、当該フランジ部のボルト締め付けが行われず、水が漏れてしまったと推定。 今後、原因を深掘りし、再発防止対策を検討。</p>	GⅢ	9月1日